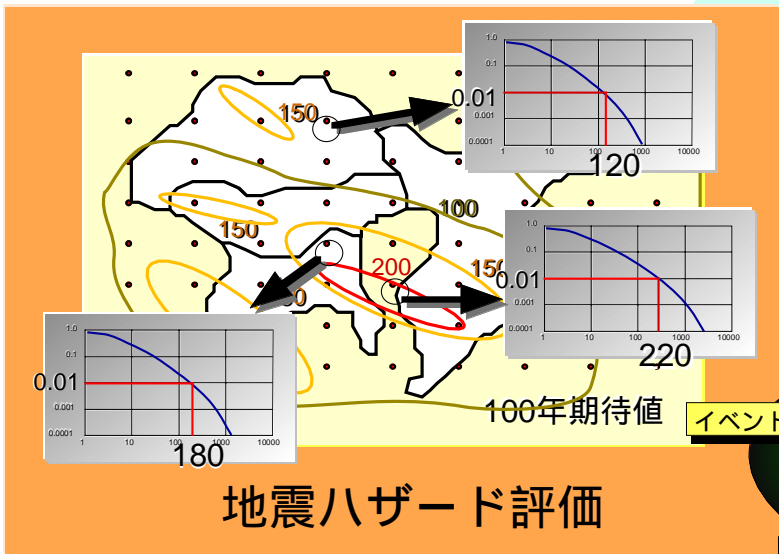
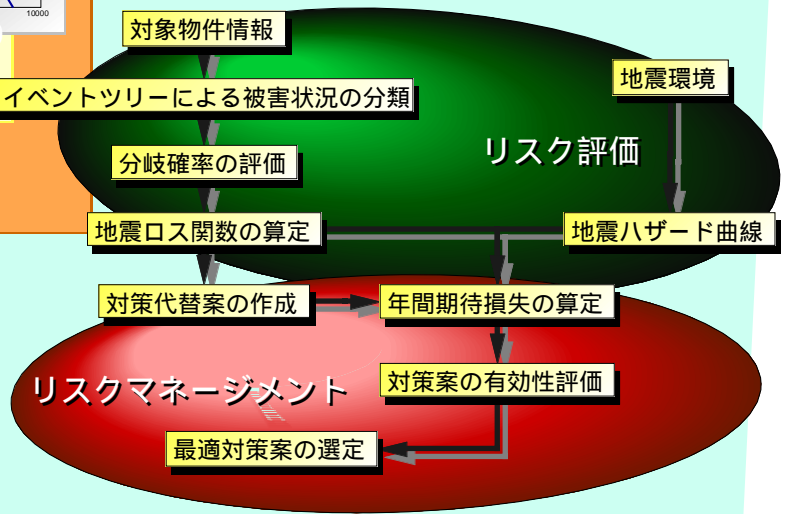


エンジニアリングの問題では、例えば、環境や需要の変動とか、経年劣化現象、将来施設が経験する地震動の大きさ等といった正確に予見することができない要因を考慮しなければならない場合が存在します。このように確定できない要因を不確定要因と呼びます。そして、ものを作る場合には不確定要因をどのように取り扱うかが、根本的な問題となることがしばしば見られます。不確定要因に対処する方法として、信頼性工学と呼ばれる方法が存在し、施設の設計や品質管理に活用されています。信頼性工学では確率・統計論を利用しますが、これらは必ずしも広く理解され、十分に利用されているとは言えません。ME&Dではこの信頼性工学の応用を基本とし、様々なエンジニアリングの問題に信頼性手法を明解に適用して、皆様の意思決定を支援いたします。



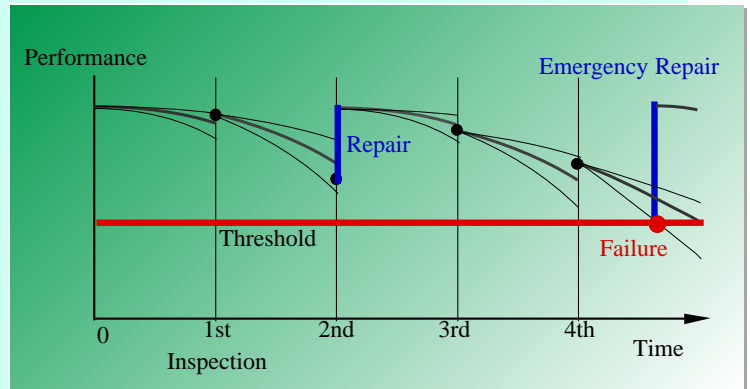
SRM手法のフローチャート



適用分野

- 地震・耐震問題
 - 確率論的地震ハザード解析
 - 設計用地震動の策定
 - 地震リスク評価
- 地震リスクマネジメント (SRM)
 - 地震防災システム
 - 耐震設計レベルの最適化問題
- 維持管理問題
 - 経年劣化構造物の点検・補修最適化問題
 - ヘルスマonitoringシステム
- 事故・災害問題
 - リスク評価、リスクマネジメント
 - 災害保険、リスク分散手法
- その他

点検と補修



点検：現状での性能を照査する行為
 補修：性能を向上させる行為

会社概要

名称

株式会社モダンエンジニアリングアンドデザイン

設立

1999年11月1日

所在地

東京都新宿区神楽坂3丁目2番地 巽ハイム202

資本金

26,500,000円

取引金融機関

三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店

第一勧業信用組合 神楽坂支店

案内図

